

## とり、とりどり

2022 年 10 月 29 日(土)～12 月 25 日(日) 休館日：月曜日（11 月 21 日、12 月 19 日は開館）

本展の主題、鳥。風流の対象を指す「花鳥風月」という言葉があるように、鳥は美術や詩、音楽、映画、演劇などさまざまな芸術の分野で馴染み深いモチーフのひとつです。鳥が登場する作品というと何が思い浮かぶでしょうか。

ここ新潟県には 10 月頃から白鳥が飛来するほか、当館に隣接する県立植物園の大きな池では同じ頃から渡り鳥の鴨を見ることができます。

この時期に合わせ、当館所蔵品の中から鳥を表現した作品を集めて展示します。

作者名	作品名	制作年	材質／技法
テレサ・ヴィルビク	BAŚNIE（『白鳥の王子』より） 2	1996 年	水彩、紙
クリシュティナ・レニイ	魔法使いのジョニー 2	1997 年	水彩、紙
ヴィエラ・ラリン	ほのかな愛 2	1997 年	ミクストメディア、紙
ドラガナ・ヨヴチッチ	ラ・フォンテーヌの寓話より 2	1995 年	色鉛筆、紙
佐々木 裕久	冬の蜃気楼	1999 年	麻紙本岩彩
堀越 保二	冬田	1980 年	紙本着彩
下村 良之介	逍遙	1997 年	紙粘土、顔料、紙、板
下村 良之介	闘鶏屏風	1996 年	紙本着彩
張替 正次	鶏（雄叫び）	制作年不詳	水彩、墨、紙
佐々木 象堂	金銅海鷲香炉	1935 年頃	蠟型鑄金（銅）

※すべて当館蔵